

東京 2020 パラリンピック聖火リレーの実施日等について

東京 2020 パラリンピック聖火リレーの日程等について、以下のとおり報告します。

1 聖火リレーの日程

- (1) 令和2年(2020年)8月13日(木)～17日(月)
競技開催都県※以外の43道府県で採火し、競技開催県へ向け出立する。
- (2) 令和2年(2020年)8月18日(火)～20日(金)
競技開催県にて聖火リレーを行った後、東京都へ向け出立する。
- (3) 令和2年(2020年)8月21日(金)
46道府県から聖火が集い、東京都で1つの炎へ統合される。
- (4) 令和2年(2020年)8月22日(土)～25日(火)
都内区市町村において、学校や病院、パラリンピックにゆかりのある地などを訪れながら、聖火リレーを行い、パラリンピック開会式へ繋いでいく。

※東京都、静岡県、千葉県、埼玉県。

2 聖火ランナーの募集資格

- (1) 2008年4月1日以前に生まれた方。
- (2) 国籍・性別は問わない。
- (3) 自らの意思で火を安全に運ぶことができる方。ただし、介添えのスタッフによるサポートが可能。

3 聖火ランナーの応募期間

- (1) 2019年11月27日(水)～2020年2月29日(土)・・・株式会社LIXIL
- (2) 2019年12月16日(月)～2020年2月15日(土)・・・各都県

4 聖火ランナー選定の基本的な考え

- (1) 幅広い分野から選定する。
- (2) 誰かの希望や支えとなる存在の方から選定する。
- (3) 共生社会を体現する方から選定する。

5 今後の予定

- (1) 各応募先が、応募者から提出された事項を基に、上記に記載する基本的な選定の考え方に沿って選考を行う。
- (2) 選定結果について、各応募先が東京2020組織委員会に候補者を推薦し、東京2020組織委員会にて決定する。(2020年5月以降)

東京2020パラリンピック聖火リレー 都内実施自治体

8月21日（金） 都内採火式（新宿区ほか（調整中）） 都内集火式（新宿区）		
競技開催 都県聖火 リレー	実施日	実施自治体
	8月21日（金）	新宿区⇒中野区⇒豊島区⇒北区⇒文京区
	見どころ	
	<p>東京を代表する高層ビル街から東京都の聖火リレーはスタートします。多様な人々が交流する街や文教地区、文化やパラスポーツの拠点などを巡り全国集火式会場に向かいます。</p>	
8月21日（金）夜 全国集火式（調整中）		
開催都市 内聖火リ レー	実施日	実施自治体
	8月22日（土）	千代田区⇒台東区⇒墨田区⇒江東区⇒江戸川区
	8月23日（日）	国立市⇒日野市⇒立川市⇒東大和市⇒国分寺市
	8月24日（月）	西東京市⇒三鷹市⇒府中市⇒調布市⇒世田谷区
	8月25日（火）	中央区⇒港区⇒渋谷区
	見どころ	
	<p>全国集火式で統合されたパラリンピック聖火により22日からの4日間、開催都市東京のリレーを実施します。22日は都心からスタートし、新旧の観光名所がある下町や水の都・東京の魅力溢れる地域を走行します。23日、24日は自然と文化が調和した多摩地域を中心に走行します。そして、最終日の25日には、多くの人々で賑わい溢れる最先端の街と昔ながらの街が共存する地域などを走行し、来るパラリンピック開会式へ繋がります。</p>	

実施自治体とその順番、採火式・集火式の記載内容については、今後変更する可能性があります。